

単元名 【旧】見て 見て おはなし(絵)

配当時間 6時間

単元の目標 (1) かきたい場面の様子が分かるように工夫して表すことができる。
 (2) 想像力を働かせ、好きな場面を見つけたり、考えたりすることができる。
 自分や友達がかいた絵を見て、場面について話し合い、楽しさを感じることができる。
 (3) 物語を聞いたり読んだりして、好きな場面をかくことを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080213_001

【準備等】画用紙、色画用紙、共同絵の具、ワークシート、作品カード、クレヨン、パス、サインペン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1, 2 物語やお話を聞いた感想を話し合い、かく場面を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の参考作品を見て、感じたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・スタンプを使っている。 ・お地蔵さまの手が違う。 <p>★自分の好きなところを選んで、お話を絵に表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語を聞く。 物語のどこが好きかをみんなで発表し合う。(言語活動) かく場面を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・その場面の様子 ・登場人物や情景 <p>3～5 自分の感想を基に、思いを膨らませて絵に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物や情景の目安となる位置を決める。 感想を基に描画材を工夫して絵に表す。 <ul style="list-style-type: none"> ・クレヨン、パス ・サインペン ・絵の具 <p>6 自分や友達の作品を見て、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品カードを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の題 ・かきたかったこと 自分や友達がかいた絵を見て、好きな場面について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 1・2下 P.30, 31 物語やお話の感想を基にして、思いを膨らませて絵に表していることを説明する。 自分の表したい方法で、思いを表す工夫をしていることに気付かせる。 物語を読み聞かせる。 読みを深めるため、感想を話し合わせる。 物語の挿絵から離れて、自分の感想を基にして自分なりのかき方で表すようにさせる。 ワークシートに、かく場面についてまとめさせる。 最もかきたいことを絵の中心に大きくかくように助言する。 自分の感想を基に、思いを膨らませながら、絵に表していくようにさせる。 絵の具は皿やパレットの上で混ぜて、思いに合った色をつくらせる。 使う色を変えるときは、濁らないように筆をよく洗わせる。 【評】作品を通して、かきたい場面の様子がわかるように、かき方や色を工夫する「創造的な技能」を評価する。 作品カードを書いて、鑑賞の参考にさせる。 絵をじっくり見て、よさを感じ取ることができるよう助言する。 【評】自分や友達の作品を見て、好きな場面について話し合う活動を通して「鑑賞の能力」を評価する。

【 備 考 】